

平成25年9月20日

市議会議長

川島公子様

議員定数等検討委員会

委員長 玉井 宰

#### 委員会協議結果報告書

当委員会は、議長からの依頼により、平成25年3月26日に設置されました。議員定数及び議員報酬について6回に亘る委員会を開催し、慎重に検討を重ねた結果を下記のとおり報告致します。

#### 記

#### 議員定数及び議員報酬について

##### (1) 議員定数について

各会派・各委員から出された議員定数については、前期15期（平成23年7月臨時会）にも議論した経緯があり、次の一般選挙から議員定数を削減するという意見が多数であり、削減の必要なしという意見は少数でありました。

次に具体的な削減数については、三つの提案が出され、その内容と根拠は以下のとおりです。

##### ① 「3名減の25名」とする委員は9名

財政力指数・市域面積から総合的に判断し、議員一人当たり6,000人強の人口を担うことや議員6人で常任委員会を機能させることができるなどの理由です。

##### ② 「2名減の26名」とする委員は2名

前期15期で2名減を提案した経緯や市民や会派の意見を反映してとの理由です。

##### ③ 「削減の必要なしで28名」とする委員は3名

議会の機能強化が求められているとき、定数減は議員自ら役割の軽視につながる。人口規模や財政力からみて全国的に均衡が取れていることや委員会構成上これ以上減らす必要がないとする理由です。

## (2) 議員報酬について

平成24年3月28日付「小牧市特別職報酬等審議会」の答申を尊重し、議員報酬を元に戻す。即ち、平成23年第3回臨時会の議案第67号「議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」を廃止するという意見が多数であり、現状の10%削減するという意見は少数でありました。

### ① 「特例を廃止し、報酬に戻す」とする委員は8名

議員として十分な活動を保障するため報酬審議会の答申を尊重し、戻すべきである。

### ② 「現状のまま10%カットをする」とする委員は6名

・市民感情や職員とのバランスから考慮して10%カットを戻すのは時期尚早である。

・市民感情や職員とのバランスから考慮して10%カットを恒久化する。

実施時期については平成26年4月1日からが良いという意見にまとまりました。

(1)(2)について拙速に結論を出さず、広く市民の声を聴くべきだという意見も出されました。

以上